



「誠実で☆キラリと光る☆  
ナンバーワン&オンリーワン」を目指して



**TOTETSU**

2016年9月  
**東鉄工業株式会社**  
(東証1部:1835)





# 目次

1. 会社概要	P. 4～11
2. 事業部門別業況	P. 12～19
3. 当社の大きな社会的使命／最近の取り組み例	P. 20～27
4. 業績推移	P. 28～31
5. 中期経営計画	P. 32～43
6. 個人投資家のみなさまへ	P. 44～47

(本資料は、全て連結決算数値で表示しております)



# 1. 会社概要 【社長プロフィール】



代表取締役社長  
柳下 尚道(やぎした なおみち)

## 略歴:

- |         |  |
|---------|--|
| 昭和30年   | 神奈川県横浜市出身  |
| 昭和49年   | 麻布高等学校 卒業  |
| 昭和54年   | 東京大学 工学部土木工学科 卒業<br>国鉄入社(四国総局(高松)、大阪鉄道管理局(吹田)など)   |
| 昭和62年   | 東日本旅客鉄道株式会社(勤務地:本社、盛岡、新潟など)                        |
| 平成 5年   | 経営管理部 調査役(株式上場後初代のIR担当)                            |
| 平成20年   | 取締役 鉄道事業本部 設備部長<br>東鉄工業(株)社外取締役就任(平成20年6月～平成22年6月) |
| 平成22年   | 常務取締役 鉄道事業本部 副本部長<br>(東日本大震災の復旧に従事)                |
| 平成24年   | 常務取締役 鉄道事業本部長<br>(安全対策、防災対策、輸送改善、サービス向上などに従事)      |
| 平成26年   | 代表取締役 副社長  |
| 平成28年6月 | 東鉄工業(株) 代表取締役社長就任                                  |

趣味: ゴルフ、読書

信条: 「自由と責任」

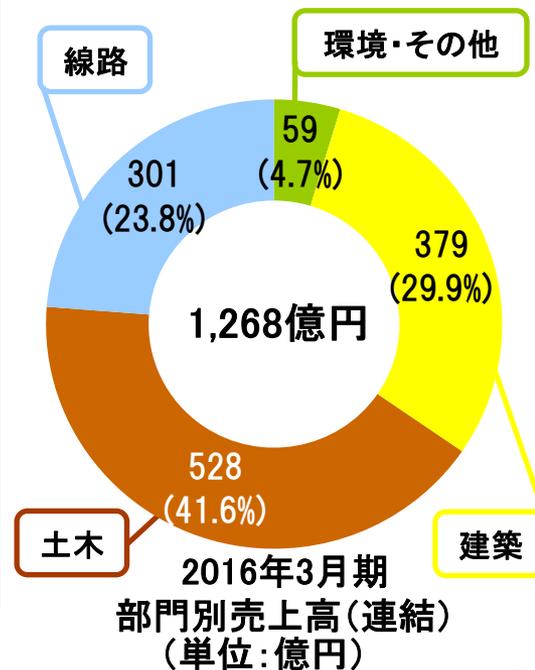


# 1. 会社概要

(平成28年3月31日現在／連結)

## 鉄道関連工事の専門技術をコアコンピタンスとする総合建設業

会社名	東鉄工業株式会社(TOTETSU KOGYO CO.,LTD)
本社所在地	東京都新宿区信濃町34番地 JR信濃町ビル
資本金	28億1,000万円
代表者	代表取締役社長 <small>やぎした なおみち</small> 柳下 尚道 (平成28年6月 就任)
従業員数	1,750人
連結子会社	東鉄機工株式会社・東鉄メンテナンス工事株式会社 東鉄創建株式会社・興和化成株式会社
売買単位	100株
株主構成	主要株主については46ページをご参照





# 1. 会社概要 【各事業の特徴】

## 「鉄道」を軸に、相互に補完しあう4つの事業部門

JR東日本を中心に、線路メンテナンス工事  
シェア我国No.1

高性能な大型保線機械の稼働力を誇る

軌道新設工事(新幹線・地下鉄・私鉄)・  
首都圏プロジェクトの実績豊富

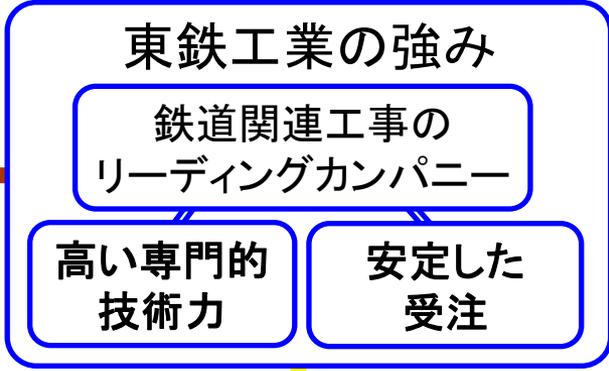


「東鉄<sup>エコツ</sup>ECO2プロジェクト」を強力推進中

ECO(エコ)関連ビジネス積極展開中

太陽光発電・緑化(壁面・苔)・  
アスベスト除去 等々

他部門とのシナジーを活かした事業展開



鉄道土木関連特殊工法に強み

耐震補強の実績が豊富

防災・立体交差工事等の高い技術力

整備新幹線の実績豊富



駅関連施設/鉄道近接建物に強み

マンション・オフィス・店舗・工場等の実績豊富

リニューアル・耐震補強等の受注拡大中

環境事業と協同で、ワンストップショッピングサービス、  
一気通貫サービスを展開中



# 1. 会社概要 【沿革】

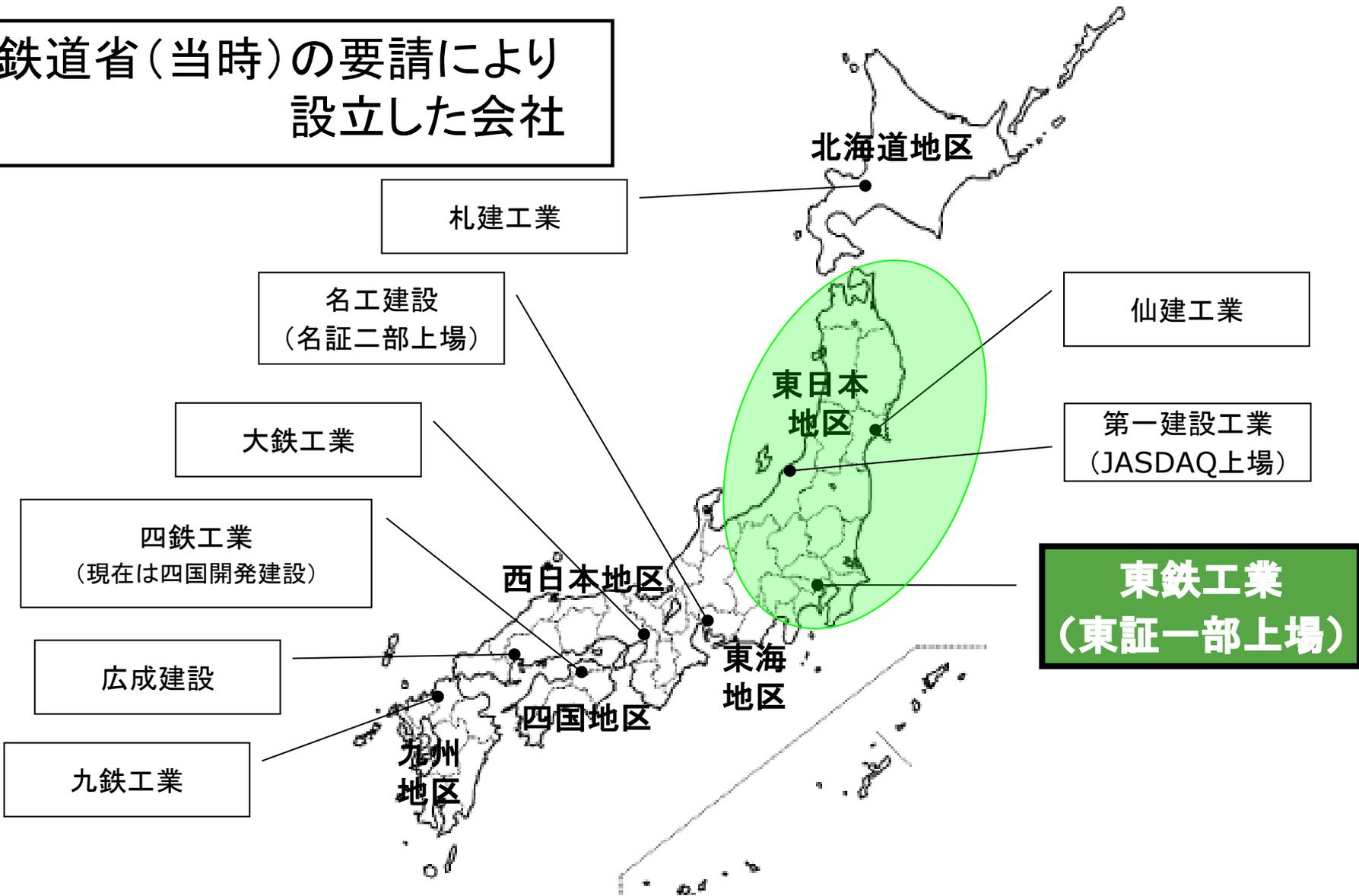
## 設立以来73年の歴史

年	月	沿革
昭和18年	7月	「東京鐵道工業株式会社」設立 〔鐵道の保持・強化を目的に、当時の鐵道省の要請により、關東地方の建設業者が企業合同し、国策会社「東京鐵道工業株式会社」として、丸の内1丁目1番地に設立〕
昭和27年	7月	商号を「東鐵工業株式会社」に変更
昭和37年	11月	株式を東京証券取引所市場第二部に上場
昭和47年	10月	株式を東京証券取引所市場第一部に上場
平成24年	4月	中期經營計画『東鐵3D Hop2015』をスタート
平成25年	3月	興和化成株式会社を子会社化
平成27年	4月	中期經營計画『東鐵3D Step2018』を新たにスタート
平成28年	7月	創立73年



# 1. 会社概要 【保線を支える主な企業】

鉄道省(当時)の要請により  
設立した会社





# 1. 会社概要 【経営理念・事業ビジョン】

## 経営理念

(P.37①ご参照)

～安全はすべてに優先する～

当社は、鉄道専門技術の特性を活かした総合建設業として、安全で快適な交通ネットワークと社会基盤の創造に貢献いたします。

## 事業ビジョン

- ・鉄道関連工事のリーディングカンパニーとして、
- ・その高い専門的技術力と、安定した受注の強みを活かし、
- ・線路・土木・建築・環境各事業のバランスの取れた事業構造のもと、
- ・専門プロ集団として、建設業界に独自の地歩を確保してまいります。



# 1. 会社概要 【コーポレートメッセージ】

## 誠実で☆キラリと光る☆ナンバーワン & オンリーワン

### 誠実で

- ・「究極の安全と安心」の追求
- ・「技術と品質」へのこだわり
- ・「環境」への取組み
- ・「人を大切にする」企業風土
- ・「誠実なCSR経営」の推進

### ☆キラリと光る☆

線路	軌道メンテナンス工事や、高性能な大型保線機械の稼働力などにおいて、質・量ともに我国ナンバーワン、そして常に未来に挑戦し続ける、☆キラリと光る☆…
線路 土木 建築	コア3部門においては、鉄道関連・耐震・防災・リニューアル・メンテナンス工事など、当社独自の高い専門性と強みを最大限に活かす…
環境	時代を先取りした環境事業「東鉄ECO2プロジェクト」を積極的に推進する…
これら4つの事業部門が相互にバランスよくシナジーを発揮し、他に類を見ない、ユニークで先進的なビジネスモデルと専門的な技術力により、お客様の多様なニーズにお応えすることができる、☆キラリと光る☆…	

### ナンバーワン & オンリーワン

「ナンバーワン」の東鉄工業を目指します

「オンリーワン」の東鉄工業を目指します



# 1. 会社概要 【当社ビジネスモデルと特徴】

## 「東鉄工業」とは・・・

### ＜ビジネスモデル＞

鉄道専門技術を活かした総合建設会社  
(鉄道関連工事のリーディングカンパニー)

安全で快適な交通ネットワークと  
社会基盤の創造に貢献する会社  
(東日本大震災/東北新幹線等の早期復旧にも貢献)

日本一の鉄道線路メンテナンス会社  
(誠実で☆キラリと光る☆「ナンバーワン」の東鉄工業)

4つの事業部門が相互にシナジーを発揮する  
ユニークなビジネスモデルを持つ総合建設会社  
(誠実で☆キラリと光る☆「オンリーワン」の東鉄工業)

### ＜経営方針と特徴＞

「究極の安全と安心」を追求する会社  
(技術と品質への徹底的なこだわり)

「誠実で、すべてのステークホルダーから信頼される」  
ことを目指す会社  
(人を大切にする経営)

JR東日本とのパートナーシップに基づく  
安定した受注の強みを持つ会社  
(官公庁・民間一般工事(含む私鉄)受注も強化中)

安定した業績と、圧倒的に健全な財務内容を誇る会社  
(経審Y評点 8期('09/3期~'16/3期)連続No.1達成)  
※建設経済研究所による主要建設会社決算分析40社の内、一部上場34社を対象



## 2. 事業部門別業況 (1) 線路部門

高性能な大型保線機械の稼働力を誇り、  
線路メンテナンス工事では我国「ナンバーワン」の東鉄工業



マルチプルタイタンパー



レール削正車



新幹線確認車



除雪用モーターカー



## 2. 事業部門別業況 (1) 線路部門

### 鉄道関連工事のリーディングカンパニー



品川駅改良軌道工事



北陸新幹線 軌道敷設工事  
レール削正工事



相鉄線 星川天王町連続立体交差工事  
(相模鉄道株)



横浜市営地下鉄 軌道改良工事  
(横浜市 交通局)



## 2. 事業部門別業況 (2) 土木部門

### 鉄道・道路関連工事・耐震補強・防災工事に強み



旧橋りょう

シナジー部門  
線路部門

JR常磐線 利根川橋りょう改良工事



シナジー部門  
線路部門

JR常磐線 那珂川橋りょう防風柵設置工事



御茶の水 聖橋長寿命化工事  
(東京都 財務局)



シナジー部門  
線路部門

外環自動車道 小山高架橋新設工事  
(東日本高速道路㈱)



## 2. 事業部門別業況 (2) 土木部門

### 線路・土木・建築・環境各部門のシナジーを発揮する「オンリーワン」の東鉄工業



シナジー部門  
線路部門

JR山手線 品川駅ホームドア新設工事  
(山手線12/24駅を施工・京浜東北線も始動)



シナジー部門  
線路部門

JR南武支線 小田栄駅新設工事



シナジー部門  
線路部門  
建築部門

JR常磐線 大甕(おおみか)駅改良工事



シナジー部門  
線路部門

東北新幹線 トンネル耐震工事



## 2. 事業部門別業況 (3) 建築部門

### 駅関連・リニューアル・他部門との連携工事等に強み



シナジー部門  
線路部門

東京駅 中央線ホーム屋根改修工事  
(日建経会員技術フォーラム 会長賞受賞)



シナジー部門  
線路部門

JR内房線 袖ヶ浦駅橋上化工事



シナジー部門  
線路部門

JR東日本 神田オフィスビル新築工事



シナジー部門  
線路部門

JR東海道線 湯河原駅前広場整備工事  
(神奈川県 湯河原町)



## 2. 事業部門別業況 (3) 建築部門

### 住宅・非住宅分野でも豊富な施工実績



高崎文化芸術センター(仮称)新築工事  
(群馬県 高崎市)



ノブレス網島東新築工事  
(ナイスエスト(株))



岩切どろんこ保育園新築工事  
(社会福祉法人どろんこ会)



NRE西浦和工場新築・屋上緑化工事  
(株)日本レストランエンタプライズ

シナジー部門  
環境部門



## 2. 事業部門別業況 (4) 環境部門

# 『東鉄ECO<sub>2</sub>プロジェクト』の推進 = 建築部門等とのシナジーを活かす



当社駒込ビル「エコビル」化

**シナジー部門  
建築部門**

- ・「一気通貫サービス」
- ・「ワンストップショッピングサービス」

← 当社駒込ビル「エコビル」化

・オリ・パラに向けた暑熱対策 →



暑熱対策実証試験設備(環境省)  
(東京ビッグサイトに設置)



マンション(ZOOM東陽町)  
壁面緑化



JR東日本 勝田運輸区  
屋上緑化



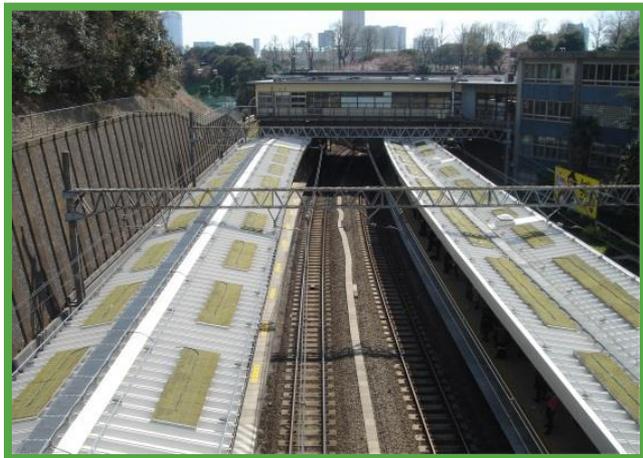
JR信濃町駅  
アロマステーション化プロジェクト  
(環境省・アロマ環境協会賞 受賞)



# 2. 事業部門別業況 (4) 環境部門

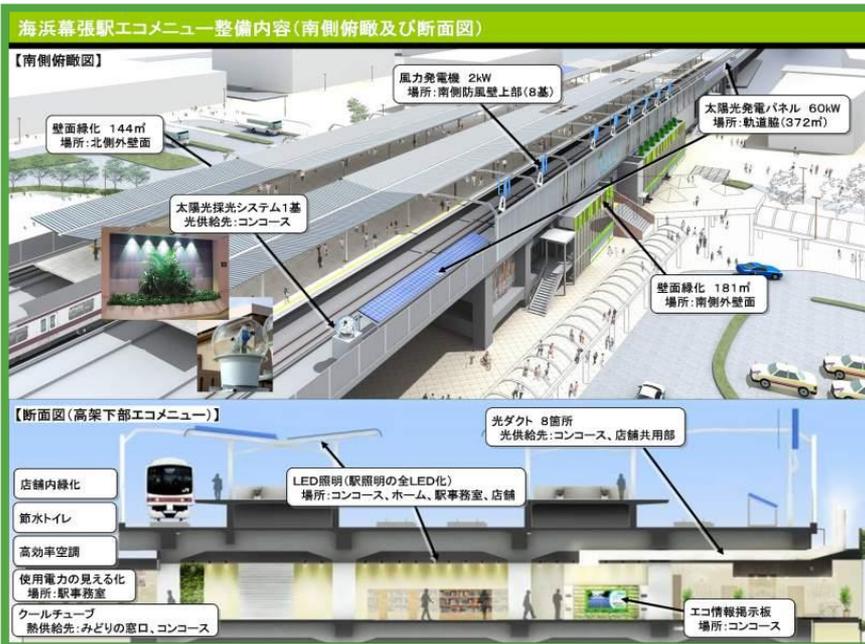
## 「エコステ」化への取り組み

<b>「エコステ」</b>	省エネルギー、再生可能エネルギーなど、様々な環境保全技術を駅に導入する JR東日本の取り組み
---------------	---



シナジー部門  
建築部門

JR中央線 四ツ谷駅  
「エコステ」化工事  
(都市緑化機構・審査委員会特別賞)



シナジー部門  
土木部門  
建築部門

JR京葉線 海浜幕張駅「エコステ」化工事  
(パース提供: 東日本旅客鉄道株式会社)



シナジー部門  
建築部門

JR常磐線 湯本駅  
「エコステ」化工事



### 3. 当社の大きな社会的使命／最近の取り組み例 (1) 東日本大震災への対応



ひたちなか海浜鉄道（金上～中根間）  
【震災直後】



【復旧後】



室原川橋りょう（JR常磐線 浪江～桃内間）  
【復旧前】



【復旧後】



JR常磐線 富岡駅  
【除染作業着手前】



【除染作業着手後】



### 3. 当社の大きな社会的使命／最近の取り組み例

#### (2) 首都直下地震に備えた耐震補強対策工事

##### ◎首都直下地震対策関連工事(施工事例)

・ 盛土(擁壁)補強工事(御茶ノ水駅付近)



コゲラステーション

・ 切土耐震補強工事(信濃町駅付近)



・ レンガアーチ高架橋補強工事(新橋駅付近)



(御茶ノ水駅付近)

・ 駅舎等天井耐震化工事(大宮駅)



##### ◎首都直下地震対策関連工事の実績と見通し

	'13/3期 実績	'14/3期 実績	'15/3期 実績	'16/3期 実績	過去4年間 累計実績	'17/3期 見通し	5年間 累計見通し
受注	135億円	230億円	272億円	165億円	803億円	約128億円	約932億円
完工	32億円	130億円	223億円	231億円	618億円	約185億円	約804億円

# 3. 当社の大きな社会的使命／最近の取り組み例

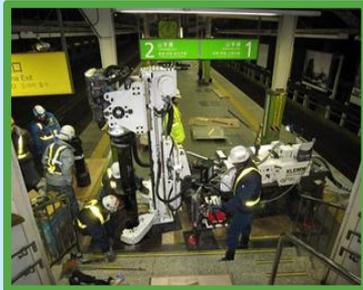
## (3) 山手線ホームドアの設置状況



ホームドア設置までの施工フロー例(高田馬場駅、目白駅などの場合)



①重機搬入



②杭打設



③受台設置



④PC板設置



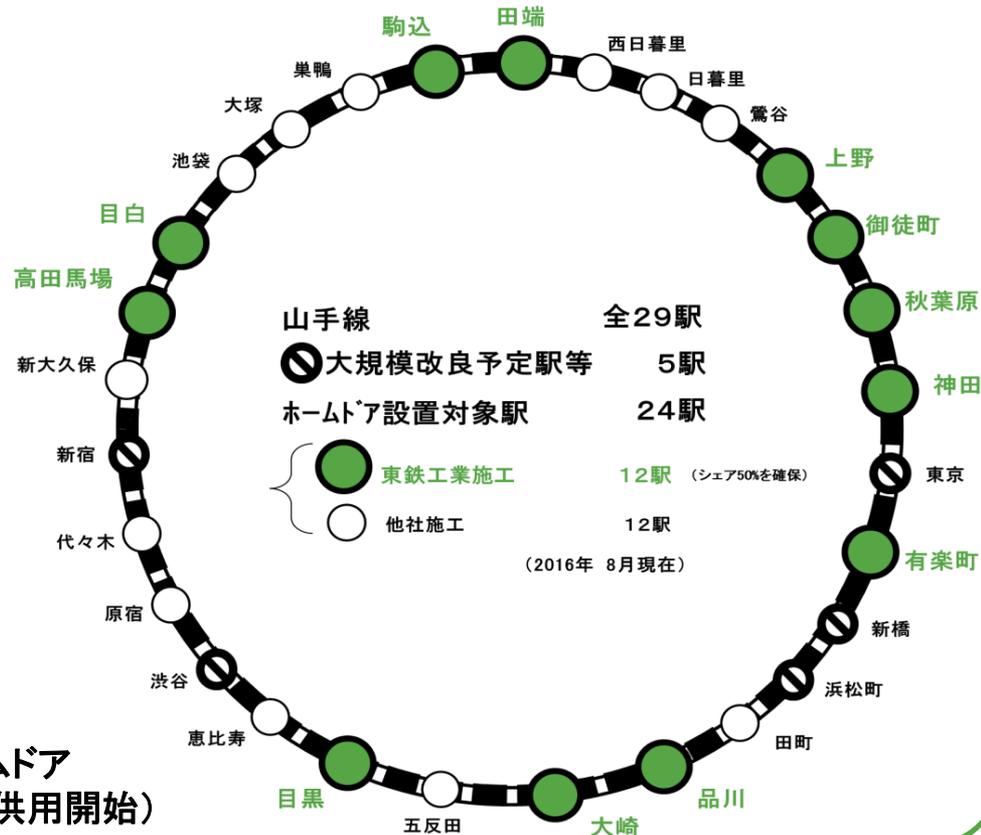
⑤ホームドア設置



⑥設置完了



品川駅ホームドア  
(2016年8月供用開始)



### 3. 当社の大きな社会的使命／最近の取り組み例 (4) 太陽光発電事業施設の取り組み状況



#### ◎JR東日本の太陽光発電施設 11件

- ・高崎駅(新幹線ホーム) 【群馬県】[2004年 3月竣工]
- ・東京駅(東海道線ホーム) 【東京都】[2011年 3月竣工]
- ・四ツ谷駅(エコステ化) 【東京都】[2012年 4月竣工]
- ・海浜幕張駅(エコステ化) 【千葉県】[2013年 9月竣工]
- ・京葉車両センター 【千葉県】[2014年 2月竣工]
- ・湯本駅(エコステ化) 【福島県】[2015年 3月竣工]
- ・石和温泉駅(笛吹市より受注) 【山梨県】[2016年 2月竣工]
- ・石岡駅(石岡市より受注) 【茨城県】[2016年 3月竣工] 他



#### ◎民間顧客の太陽光発電施設 11件

- ・日本ルツボ(株) 【愛知県】[2013年 3月竣工]
- ・丸山製作所(株) 【千葉県】[2014年 1月竣工]
- ・村田基礎工事(株) 【茨城県】[2014年 3月竣工]
- ・(株)タテノコーポレーション 【千葉県】[2014年10月竣工] 他



#### ◎自社の太陽光発電施設 2件

- ・「TOTETSU蓮田ソーラーステーション」 【埼玉県】[2013年 7月竣工]
- ・「TOTETSU鹿島ソーラーステーション」 【茨城県】[2014年11月竣工]



【 】: 太陽光発電施設設置場所

# 3. 当社の大きな社会的使命／最近の取り組み例

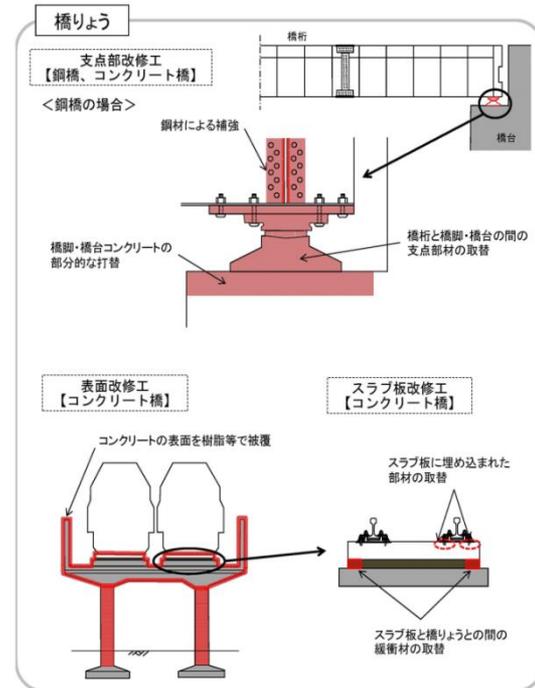
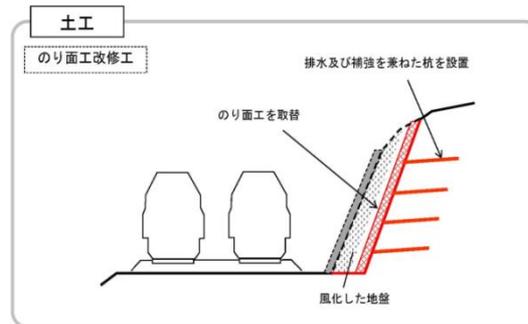
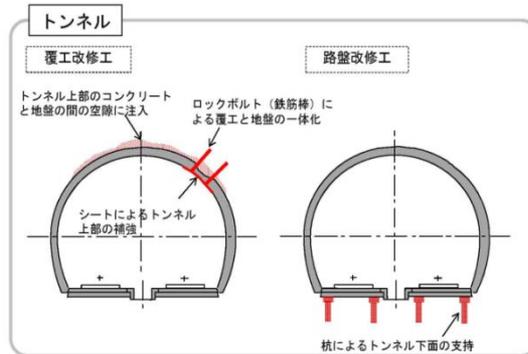
## (5)「新幹線大規模改修本部」の設置



### 「新幹線大規模改修本部」の設置



大規模改修の概要		
対象施設	主な工事内容	
橋りょう	鋼橋	支点部改修工
	コンクリート橋	表面改修工、スラブ板改修工、 支点部改修工
トンネル	覆工改修工、路盤改修工	
土工	のり面工改修工	



(JR東日本 プレスリリースより)

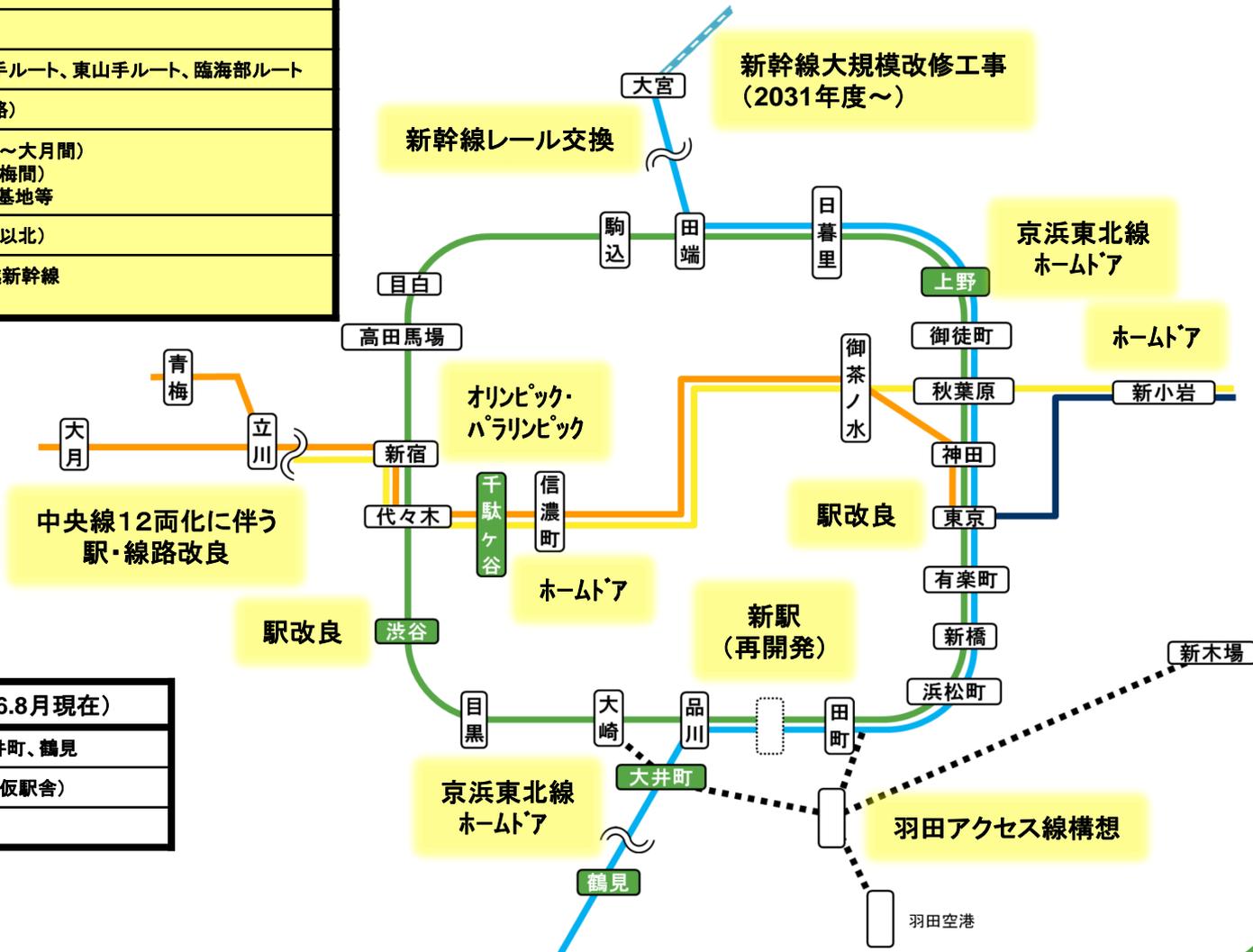
- ・「新幹線大規模改修本部」を新たに設置(2016年5月11日)
- ・JR東日本では、1982年開業の東北・上越新幹線について、大規模な改修を予定。
- ・2031年～40年度の10年間で1兆円規模を投資。
- ・当社としても効率的な施工方法の検討、必要な機械の開発、新規材料の開発・提案など、グループ会社の興和化成(株)とも協働して、中長期的な視点に立った土木構造物の大規模改修工事を推進していくための準備体制を構築し、積極的な参画を目指すもの。



# 3. 当社の大きな社会的使命／最近の取り組み例

## (6) 今後予想されるプロジェクト

今後予想されるプロジェクト(JR東日本、国交省リリース等より)	
ホームドア	京浜東北線各駅、千駄ヶ谷、信濃町、新小岩など
オリンピック・パラリンピック	千駄ヶ谷、信濃町、原宿、有楽町、新橋、浜松町、日暮里、大井町、新木場 など
新駅(再開発)	品川～田町間
羽田アクセス線構想	羽田空港～西山手ルート、東山手ルート、臨海部ルート
駅改良	渋谷・東京(北通路)
中央線12両化に伴う駅・線路改良	中央快速線(東京～大月間) 青梅線(立川～青梅間) 全44駅及び車両基地等
新幹線レール交換	東北新幹線(大宮以北)
新幹線大規模改修工事(2031年度～)	東北新幹線、上越新幹線 (P24ご参照)



当社受注済み案件 (2016.8月現在)	
ホームドア(京浜東北線)	上野、大井町、鶴見
オリンピック・パラリンピック	千駄ヶ谷(仮駅舎)
駅改良	渋谷



### 3. 当社の大きな社会的使命／最近の取り組み例 (7) 協力会社との連携強化／教育・研修制度

#### 協力会社との連携強化

##### ビジネスパートナーとともに

当社は、協力会社の皆様を大切なビジネスパートナーと考え、健全な取引関係と相互信頼の向上はもとより、協力会社社長会などの取り組みを通じ、更なる連携強化に努めております。

・安全衛生協会加盟社数924社(2015年10月現在)

##### 東鉄工業パートナー広報誌「Professional」

協力会社との一層のパートナーシップ強化を目的に、現場の最前線で活躍されている協力会社の社員の皆様や、各社のプロフィールなどを掲載。

2014年6月の創刊以来、年4回発行、最新号は13号となり、すでに100社を超えるパートナー会社を掲載・紹介。



#### 教育・研修制度

##### 教育・研修制度

当社は、経営理念の実現に向け、特に施工に携わる全ての従業員が、鉄道関連工事の真のプロフェッショナルとなるように、東鉄技術学園をベースに、施工本部ごとに目的別の専門研修を実施しています。

##### 東鉄技術学園

東鉄技術学園は、2008年に設置された次世代の東鉄マンを育成するための専門機関です。

理論から徹底的に学ぶように経験豊富なベテランの講師が年次、能力に応じてきめ細やかな教育を行っております。





### 3. 当社の大きな社会的使命／最近の取り組み例 (8) IR活動／コーポレート・ガバナンス

#### IR活動の充実

日本IR協議会2015年度「IR優良企業賞」を受賞  
(建設業界では初の受賞)



2012年度には「IR優良企業特別賞」を受賞



#### コーポレート・ガバナンスへの取り組み

「コーポレートガバナンス・コード」への積極対応  
'15年11月:3項目をエクスプレイン(未実施)として開示  
'16年 7月:対応を完了し、フルコンプライ(全項目実施)

①「議決権の電子行使・招集通知の英訳」  
・いずれも、本年6月の株主総会で実施済み

②「任意の諮問委員会」の設置  
・「経営諮問委員会」を設置  
・取締役の指名、報酬などコーポレート・ガバナンスについて特に重要な事項について意見聴取

③「取締役会全体の実効性の分析・評価・開示」  
・全ての取締役にアンケートを実施  
・「経営諮問委員会」において意見聴取  
・取締役会で分析・評価のうえ開示

※詳細は7月22日付で東証/当社HPに開示した

「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」をご参照ください



## 4. 業績推移 (1)'16/3期実績 及び'17/3期見通し

'16/3期:3年連続過去最高益を更新

'17/3期:更なる増収増益を目指す

(百万円、%)

(連結)	'15/3期 実績	'16/3期		'17/3期 (見通し)	'18/3期 (中計目標)	
		実績	'15/3期比			
			増減額			増減率
前期繰越高	58,831	75,321	+16,489	+28.0%	69,910	-
受注高	125,458	115,456	△10,001	△8.0%	120,000	-
売上高	116,106	126,807	+10,701	+9.2%	130,000	140,000
売上高総利益	15,838	19,180	+3,341	+21.1%	19,800	-
(売上高総利益率)	(13.6%)	(15.1%)	(+1.5P)	-	(15.2%)	-
営業利益	9,324	12,480	+3,155	+33.8%	12,800	13,000以上
(営業利益率)	(8.0%)	(9.8%)	(+1.8P)	-	(9.8%)	-
経常利益	9,581	12,749	+3,168	+33.1%	13,000	-
(経常利益率)	(8.3%)	(10.1%)	(+1.8P)	-	(10.0%)	-
当期純利益	6,533	8,518	+1,984	+30.4%	8,700	-
(当期純利益率)	(5.6%)	(6.7%)	(+1.1P)	-	(6.7%)	-
ROE	12.5%	14.4%	+1.9P	-	-	10%以上
総還元性向	※24.7%	※16.6%	△8.1P	-	-	30%

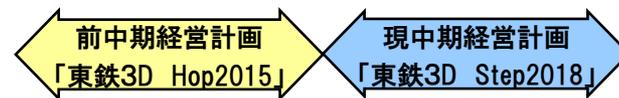
※ 2015年5月  
自己株式200千株取得後

※配当性向



# 4. 業績推移 (2) 業績推移

## 売上高・営業利益・経常利益率 (連結)

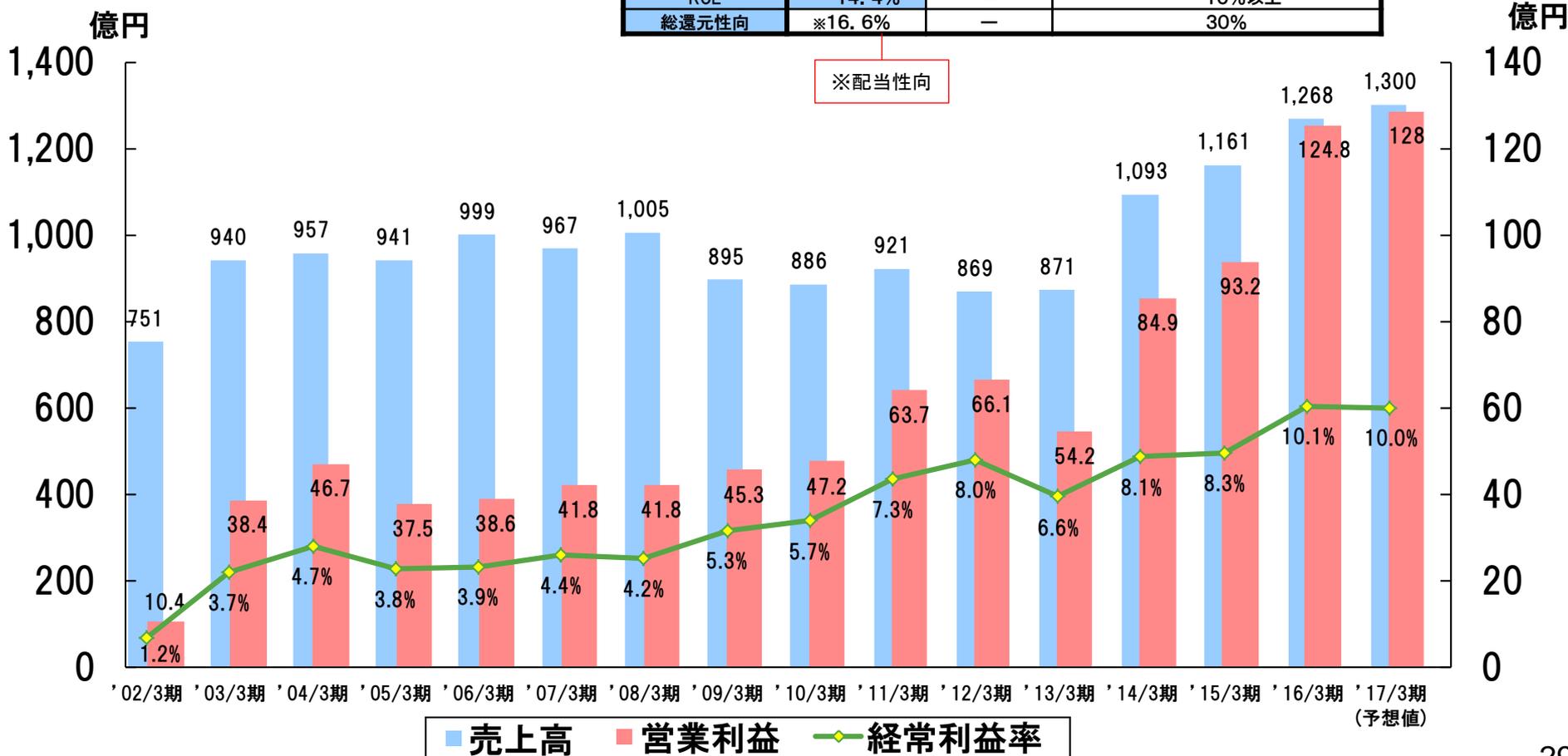


(黄色 : 達成項目)

(青色 : 達成項目)

連結	(前)中計			
	'13/3(実績)	'14/3(実績)	'15/3(実績)	'15/3(目標)
売上高	871億円	1,093億円	1,161億円	1,100億円以上
営業利益	54億円	84億円	93億円	80億円以上
経常利益率	6.6%	8.1%	8.3%	7.3%以上

連結	(現)中計		
	'16/3(実績)	'17/3(予想)	'18/3(目標)
売上高	1,268億円	1,300億円	1,400億円
営業利益	124億円	128億円	当初120億円⇒130億円以上に修正
ROE	14.4%	—	10%以上
総還元性向	※16.6%	—	30%

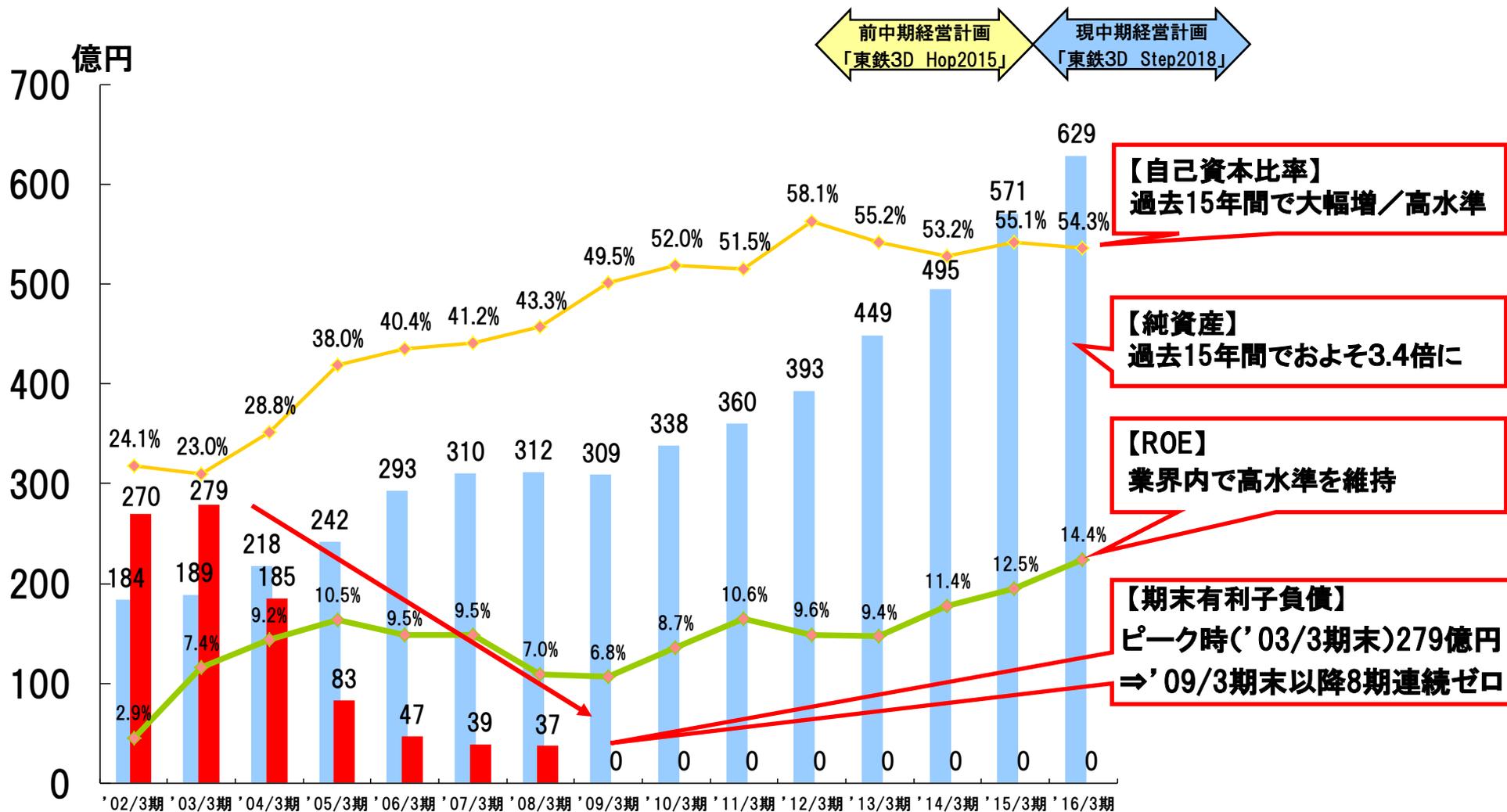


※配当性向



# 4. 業績推移 (2)業績推移

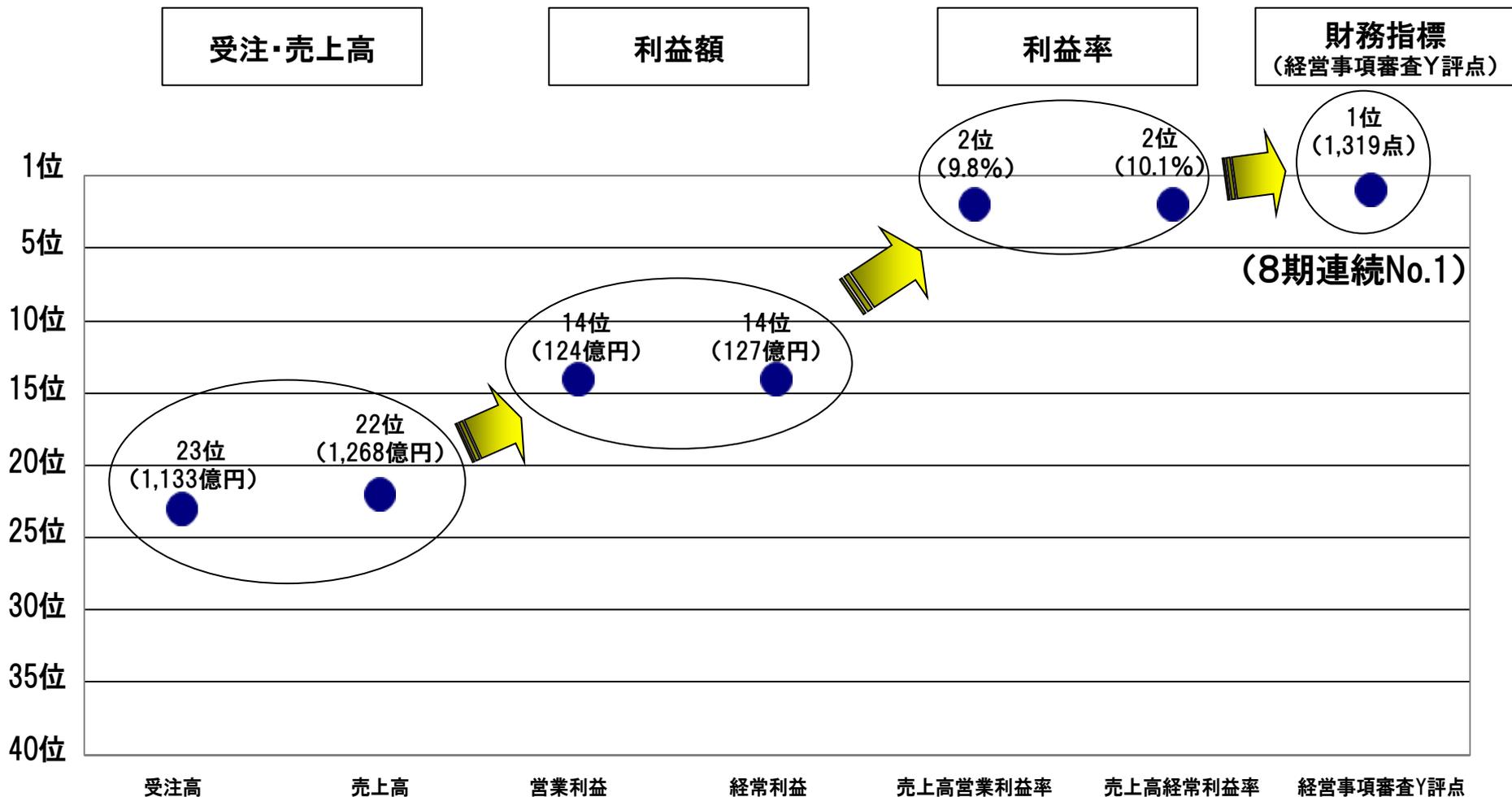
## 自己資本比率・純資産・ROE・期末有利子負債 (連結)





# 4. 業績推移 (3) 業界地位

## 業界トップクラスの非常に強力な財務基盤



注1: 建設経済研究所による主要建設会社決算分析40社の内、一部上場34社を対象

注3: 出典: 2016年3月期決算短信

注2: 上記数値及び指標は連結決算ベースで集計(受注高のみ単体集計)数値及び順位については一部推定によるものも含む

注4: 経営事項審査Y評点は、2016年3月期時点での直近決算数値より当社が試算した推定値(公共工事の入札に参加する建設業者の経営状況を国土交通省が定めた基準により表す指標)



# 5. 中期経営計画 (1)前中計スタート時における当社の問題意識

## 前中計スタート時(2012年)における当社の問題意識

### 当社の課題

・受注高に占めるJR東日本への依存度の高さ

・東日本大震災直後は、JR東日本の設備投資、修繕費等が一時的に減少(工事量が減少)

### 戦略

① 当社にとって最大最重要顧客であるJR東日本からの受注は当社の強みであり、今後とも徹底的に強化

② 一方で、  
・官公庁・民間一般工事(含む私鉄)等への多面的な営業展開を強化  
・業域をさらに深掘りし拡大

前中計『東鉄3D Hop2015』から『3D戦略』をスタート



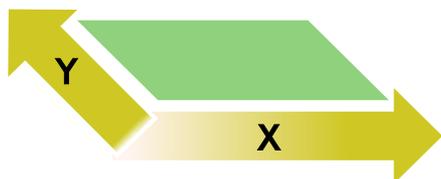
# 5. 中期経営計画 (2)『3D戦略』

## 1. 『3D戦略』概要

「量」を拡大させる  
「成長戦略」

「質」を向上させる  
「クオリティ戦略」

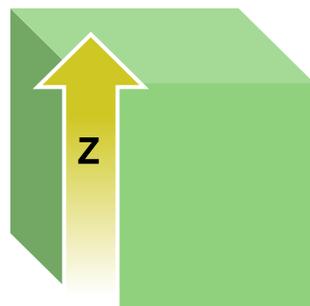
Y軸戦略(縦軸)  
「業域」の深掘りによる拡大



X軸戦略(横軸)  
「顧客層」のウイングを拡大

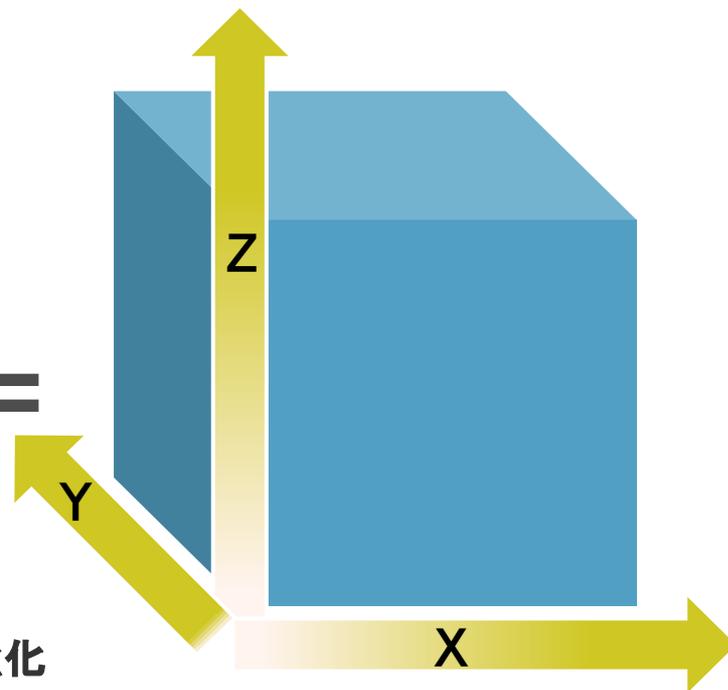
$X \times Y =$ 「面積」

$\times$



Z軸戦略(高さ軸)  
「安全」・「品質・技術力」・  
「施工力」・「企業力」の強化

$=$



$X \times Y \times Z =$ 「体積」を拡大

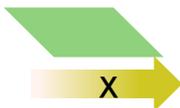
(3D : 3Dimensions (三次元) )



# 5. 中期経営計画 (2)『3D戦略』

## 2. 『3D戦略』 施策

### (1) X軸戦略(横軸)＝「成長戦略」



#### ① 当社最大の強み・使命＝JR東日本関連業務

最大最重要顧客であるJR東日本からの受注・パートナーシップは当社の最大の強みであり、安全な工事の遂行は社会的使命

⇒JR東日本関連業務に経営資源を継続的に重点投下し、徹底的に強化

#### ② 顧客層のウイング拡大

その上で、新たな顧客層のウイング拡大を図る「成長戦略」を展開

⇒JR東日本以外の顧客からの業務量を、将来的にはJR東日本と同レベルまで拡大を展望

⇒線路/私鉄・公共鉄道  
土木/官公庁・私鉄  
建築/民間一般 }からの受注強化が成長戦略の鍵

### (2) Y軸戦略(縦軸)＝「成長戦略」



#### ① 当社の強みである業務分野は徹底的に継続強化

- ⇒
  - ・鉄道関連工事
  - ・交通・社会インフラ関連工事
  - ・防災・耐震(含む、免震)・老朽化・復興関連工事
  - ・住宅・非住宅(駅舎・オフィス・店舗・工場など)建設
  - ・少子・高齢化関連工事(保育園・老人福祉施設など)
  - ・メンテナンス(維持・補修・修繕)関連工事
  - ・環境関連工事(緑化、太陽光発電など)

#### ② その上で、関連業域の深掘りによる拡大強化／新しい成長機会に挑戦

- ⇒関連業務の業域拡大
  - ・新幹線大規模改修及び新幹線レール交換など
- ⇒新しい社会環境の変化、時代の要請に応じた業域の拡大
  - ・オリンピック・パラリンピック関連
  - ・国土強靱化計画・地方創生
  - ・海外関連



# 5. 中期経営計画 (2)『3D戦略』

## 2. 『3D戦略』 施策

### (3) Z軸戦略(高さ軸) = 「クオリティ戦略」



#### ① 「安全はすべてに優先する経営」の徹底

- お客様・地域社会・従業員の「究極の安全と安心」を追求
- 実効性のある具体的な教育・訓練の継続実施

#### ② 「品質・技術力」のたゆまざる維持・強化

- 安全・安心で、高付加価値・高品質の技術・サービス・商品の提供により、お客様の高い満足度と信頼の確保を図る

#### ③ 「施工力」の強化

- 工事量増大に伴う「施工力」の強化
- 協力会社とのパートナーシップ強化
- M&Aによる施工力増強も選択肢の一つ

#### ④ 企業力の向上

- 「すべてのステークホルダーから信頼される誠実なCSR経営」の推進
  - ・それぞれのステークホルダーに対する取り組み方針
  - ・「人」を大切に作る風土づくり
  - ・「環境」への取り組み

(P.39 ②ご参照)

- 「攻め(収益力/資本効率)」と「守り(リスク管理)」の「バランスのとれたコーポレートガバナンス」による経営

(P.39 ③ご参照)

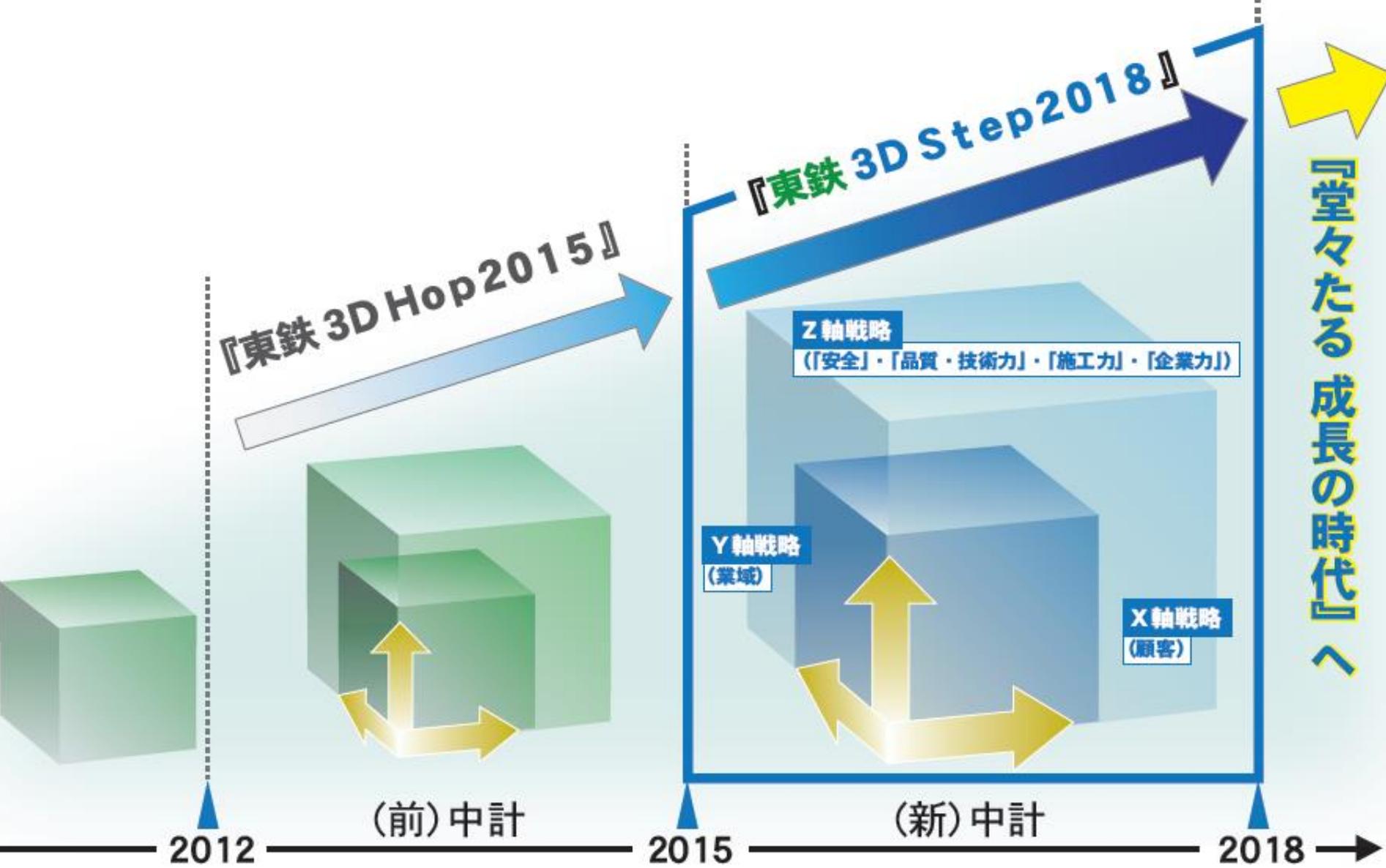
- 「成長戦略」の一環としての企業力強化

- ・剰余金の有効活用
  - ・業容拡大に伴う運転資金・M&A・設備投資などによる拡大再生産
  - ・株主・顧客・協力会社・従業員等への適切な還元・配分
- ・利益改善に対する継続的な取り組み
- ・グループ連結経営の強化
- ・海外関連事業の検討
- ・財務体質の継続的強化



# 5. 中期経営計画 (2)『3D戦略』

## 3. 『3D戦略』 イメージ図





# 5. 中期経営計画 (3) 中期経営計画『東鉄3D Step2018』

## 1. 『東鉄3D Step2018』 基本方針

- ・前中計『東鉄3D Hop2015』の成果を踏まえ、基本方針、基本戦略(『3D戦略』)は、一部ブラッシュアップのうえ継続
- ・新中計を、新たに『東鉄3D Step2018』としてスタート

### 基本方針

- |     |   |            |
|-----|---|------------|
| (1) | ① 「経営理念(～安全はすべてに優先する～)に基づいた軸のブレない経営」                    | (P. 9ご参照)  |
|     | ② 「全てのステークホルダーから信頼される誠実なCSR経営」                          | (P.39②ご参照) |
|     | ③ 「攻め(収益力/資本効率)」と「守り(リスク管理)」の「バランスのとれたコーポレートガバナンスによる経営」 | (P.39③ご参照) |

により、社会やお客様の安全・安心・安定・快適・品質などの様々なニーズに的確にお応えし、当社の「社会的使命」をしっかりと果たす。

- (2) 「量」(「成長戦略」)と「質」(「クオリティ戦略」)のベストバランスにより、「持続的な企業価値の向上」を図り、「堂々たる成長の時代」への『Step』を切り拓く。

- (3) 「基本戦略」となる『3D戦略』(スリーディ戦略)は不変。  
(前)中計を第一期の『Hop』と位置づけ、(新)中計では第二期の『Step』としてさらなる飛躍に挑戦。

前中計(2012～2015):『東鉄3D Hop2015』



新中計(2015～2018):『東鉄3D Step2018』を新たにスタート



# 5. 中期経営計画 (3) 中期経営計画『東鉄3D Step2018』

## 2. 『東鉄3D Step2018』基本方針(イメージ図)

X軸(顧客層のウイングの拡大)  
Y軸(業域の深掘り)

3D戦略

Z軸(「安全」・「品質」・「技術力」  
・「施工力」・「企業力」)

成長戦略

クオリティ戦略

量

成長力(トップライン=売上高)  
収益力(ボトムライン=利益額)

バランス

ベスト  
バランス

質

「安全」・「品質」・「技術力」・「施工力」・「企業力」

特に力を入れる取り組み

- ・JR東日本関連業務をコアとして経営資源を重点投下
- ・顧客層のウイングを拡大し、土木/官公庁や建築/民間一般などの受注も増強
- ・強みである業務分野を徹底強化の上、業域を更に深掘り
- ・オリンピック・パラリンピック・海外関連など、新しい機会にも挑戦
- ・不採算工事は徹底排除した上で、「利益額の最大化」を図る

特に力を入れる取り組み

- ・「安全はすべてに優先する経営」の徹底
- ・「品質・技術力」のたゆまざる維持・強化
- ・工事量増大に伴う「施工力」の強化
- ・「人」「環境」への誠実な取り組み
- ・「コーポレートガバナンス・コード」への積極的対応
- ・資本効率・株主還元の重視  
(ROE・総還元性向の目標化/中間配当など)
- ・取締役会の実効性確保(複数独立社外取締役の選任など)
- ・「成長戦略」の一環としての企業力強化(M&Aなど)

数値目標	連結	前々中計実績	前中計実績	新中計目標(修正後)
		'12/3	'15/3	'18/3(最終年度)
	売上高	869億円	1,161億円	1,400億円
	営業利益	66億円	93億円	130億円以上

数値目標	連結	新中計目標
		'18/3(最終年度)
	ROE	10%以上
	総還元性向	30%



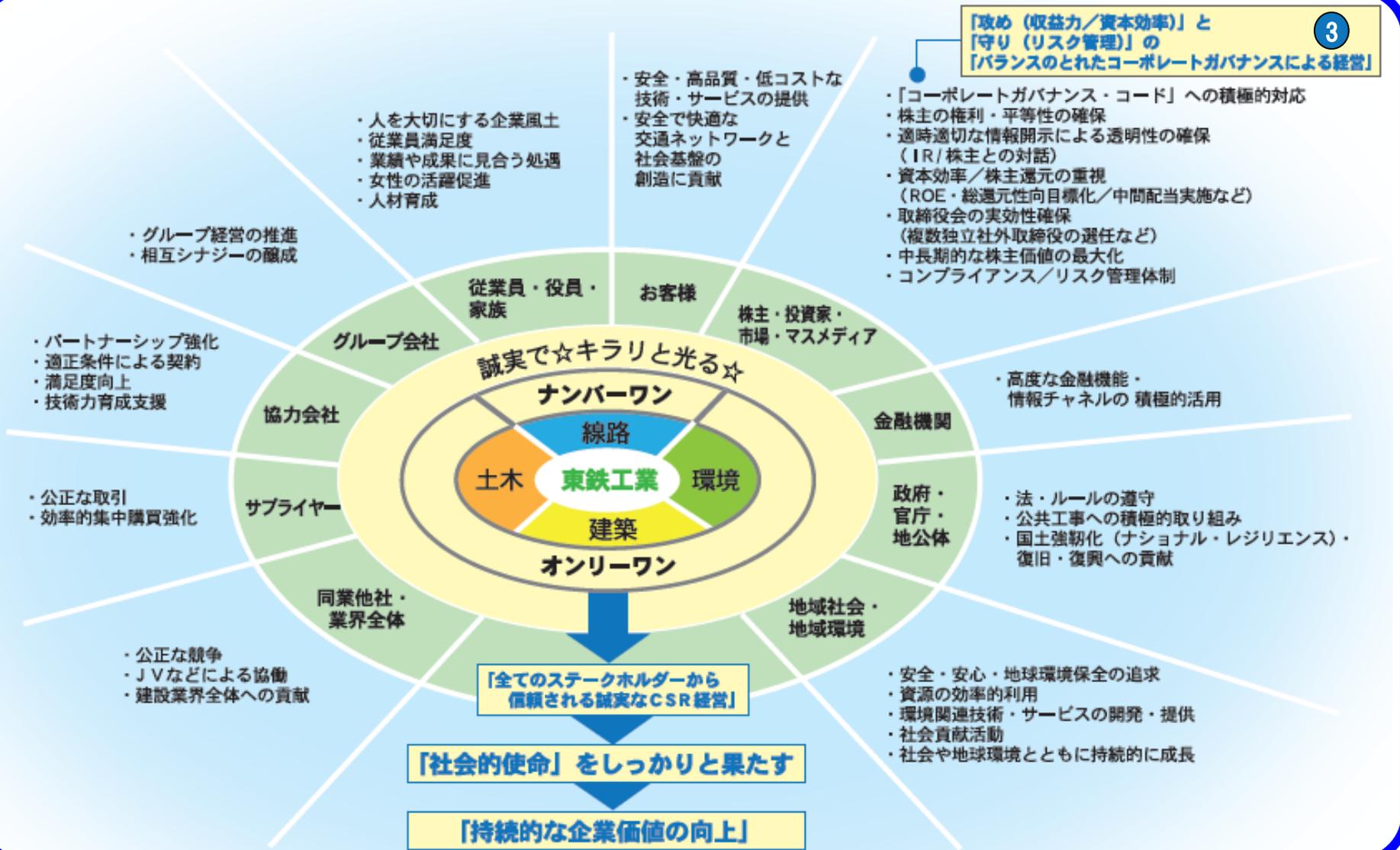
# 5. 中期経営計画 (3) 中期経営計画『東鉄3D Step2018』

## 3. 『東鉄3D Step2018』 基本方針(ステークホルダーに対する取り組み方針)

### 「全てのステークホルダーから信頼される誠実なCSR経営」の推進

2

3  
「攻め(収益力/資本効率)」と「守り(リスク管理)」の「バランスのとれたコーポレートガバナンスによる経営」



- ・グループ経営の推進
- ・相互シナジーの醸成

- ・人を大切にする企業風土
- ・従業員満足度
- ・業績や成果に見合う処遇
- ・女性の活躍促進
- ・人材育成

- ・安全・高品質・低コストな技術・サービスの提供
- ・安全で快適な交通ネットワークと社会基盤の創造に貢献

- ・「コーポレートガバナンス・コード」への積極的対応
- ・株主の権利・平等性の確保
- ・適時適切な情報開示による透明性の確保 (IR/株主との対話)
- ・資本効率/株主還元の重視 (ROE・総還元性向目標化/中間配当実施など)
- ・取締役会の実効性確保 (複数独立社外取締役の選任など)
- ・中長期的な株主価値の最大化
- ・コンプライアンス/リスク管理体制

- ・パートナーシップ強化
- ・適正条件による契約
- ・満足度向上
- ・技術力育成支援

- ・高度な金融機能・情報チャネルの積極的活用

- ・公正な取引
- ・効率的集中購買強化

- ・法・ルールの遵守
- ・公共工事への積極的取り組み
- ・国土強靱化(ナショナル・レジリエンス)・復旧・復興への貢献

- ・公正な競争
- ・JVなどによる協働
- ・建設業界全体への貢献

- ・安全・安心・地球環境保全の追求
- ・資源の効率的利用
- ・環境関連技術・サービスの開発・提供
- ・社会貢献活動
- ・社会や地球環境とともに持続的に成長



# 5. 中期経営計画 (3) 中期経営計画『東鉄3D Step2018』

## ・数値目標の一部修正(平成28年5月11日)

修正の理由

- (1) 今後の市場環境は依然不透明な展開が続くものの、より高い目標への挑戦を目指して、「営業利益」については、当初目標としていた「120 億円」から「**130 億円以上**」に修正。
- (2) より高い目標への挑戦にあたっては、従来通り「安全」・「品質・技術力」・「施工力」・「企業力」における「質」(「クオリティ戦略」)を引き続き当社グループの最重要戦略と位置づけたうえで、全社をあげて継続的に取り組んでいる不採算工事の徹底排除、原価管理の強化、種々のコストダウンにも注力しつつ、売上高と利益額のバランスを重視した「量」(「成長戦略」)を推進。

(連結)	『東鉄3D Hop2015』 '15/3期 (実績)	'16/3期 (実績)	'17/3期 (計画)	『東鉄3D Step2018』	
				'18/3期最終年度目標 (修正前)	(修正後)
売上高	1161億円	1268億円	1300億円	1400億円	1400億円
営業利益	93億円	124億円	128億円	120億円	<b>130億円以上</b>
ROE	12.5%	14.4%	—	新たに導入 10%以上	10%以上
総還元性向	※24.7%	※16.6%	—	30%	30%

※ 2015年5月  
自己株式200千株取得後

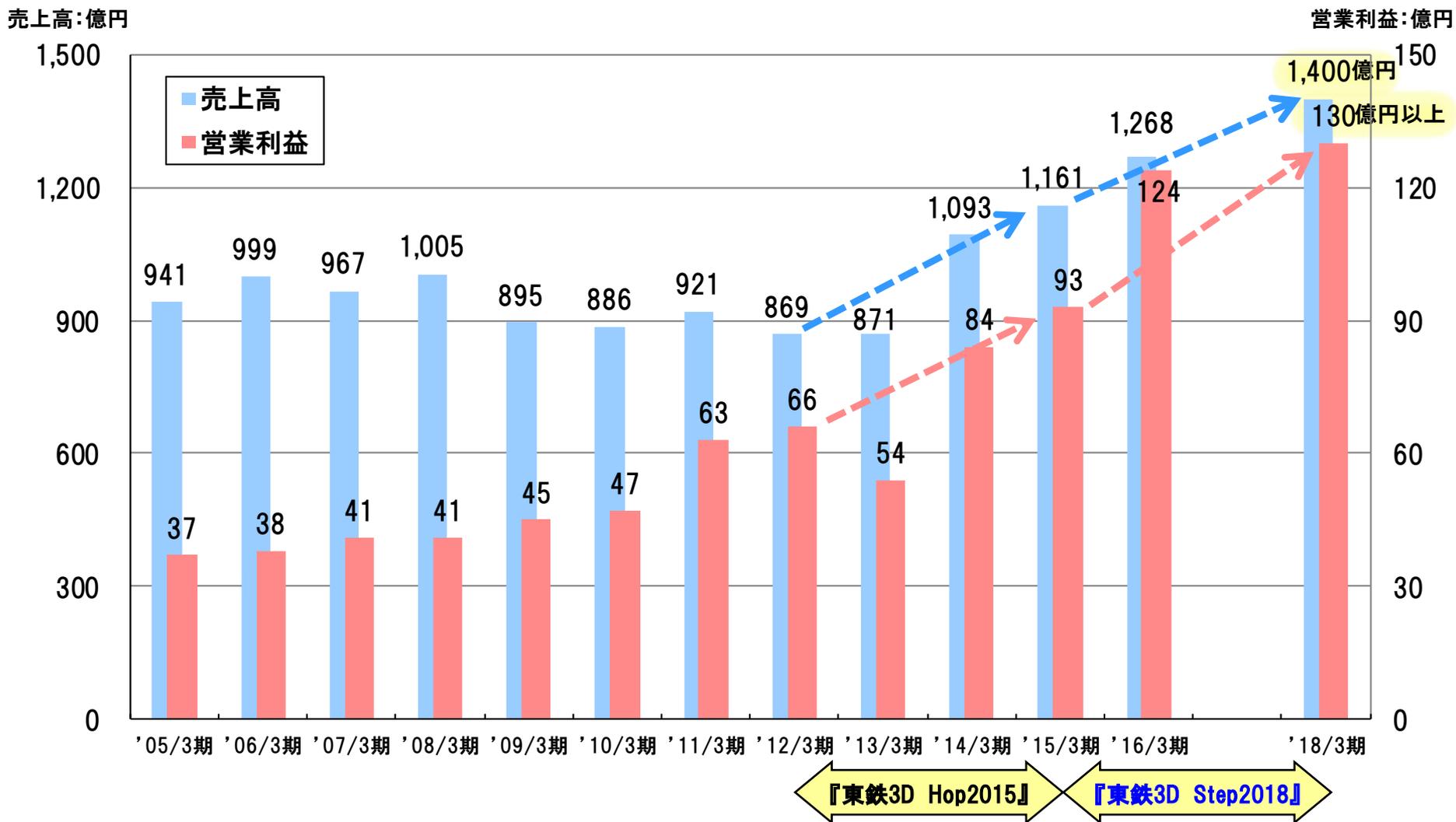
※配当性向



# 5. 中期経営計画 (3) 中期経営計画『東鉄3D Step2018』

・「成長力」と「収益力」のバランスの取れた持続的成長を目指す

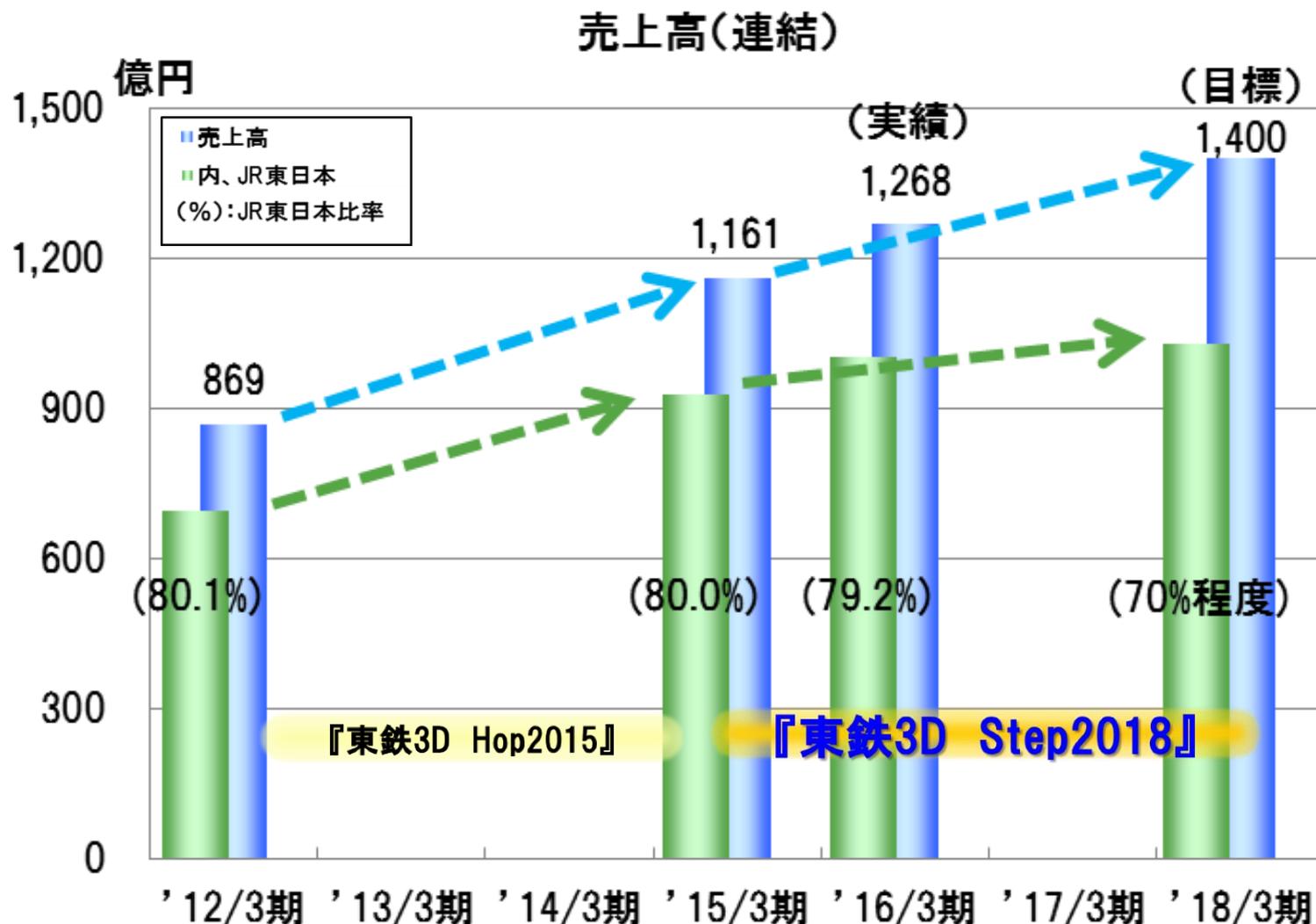
### 【売上高・営業利益の推移】(連結)





# 5. 中期経営計画 (3) 中期経営計画『東鉄3D Step2018』

- ・JR東日本関連業務を確実に維持しつつ、
- ・「土木/官公庁」「建築/民間一般」など新たな顧客層のウイング拡大を図る

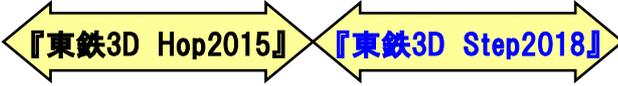
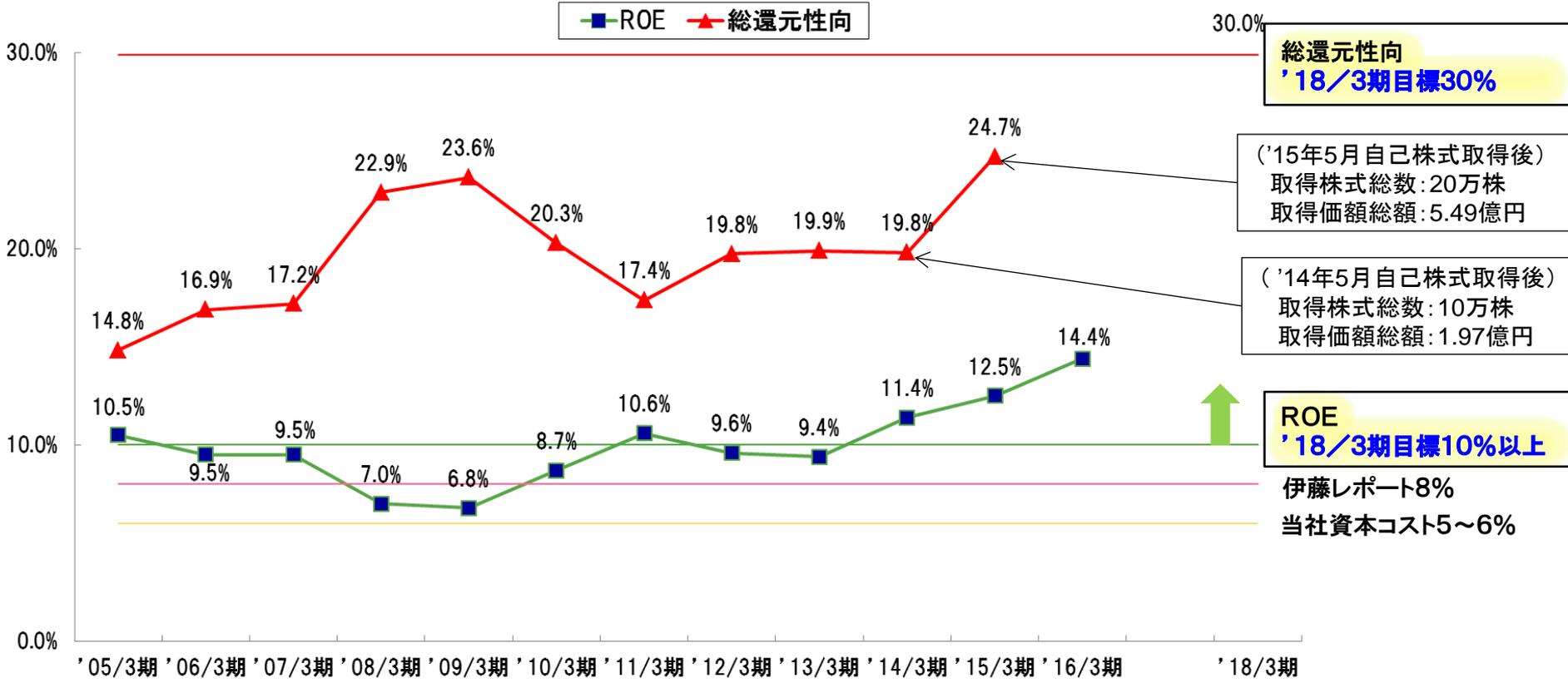




# 5. 中期経営計画 (3) 中期経営計画『東鉄3D Step2018』

- ・ROE10%以上、総還元性向30%を目標化
- ・資本効率を重視した企業価値向上と持続的成長を目指す

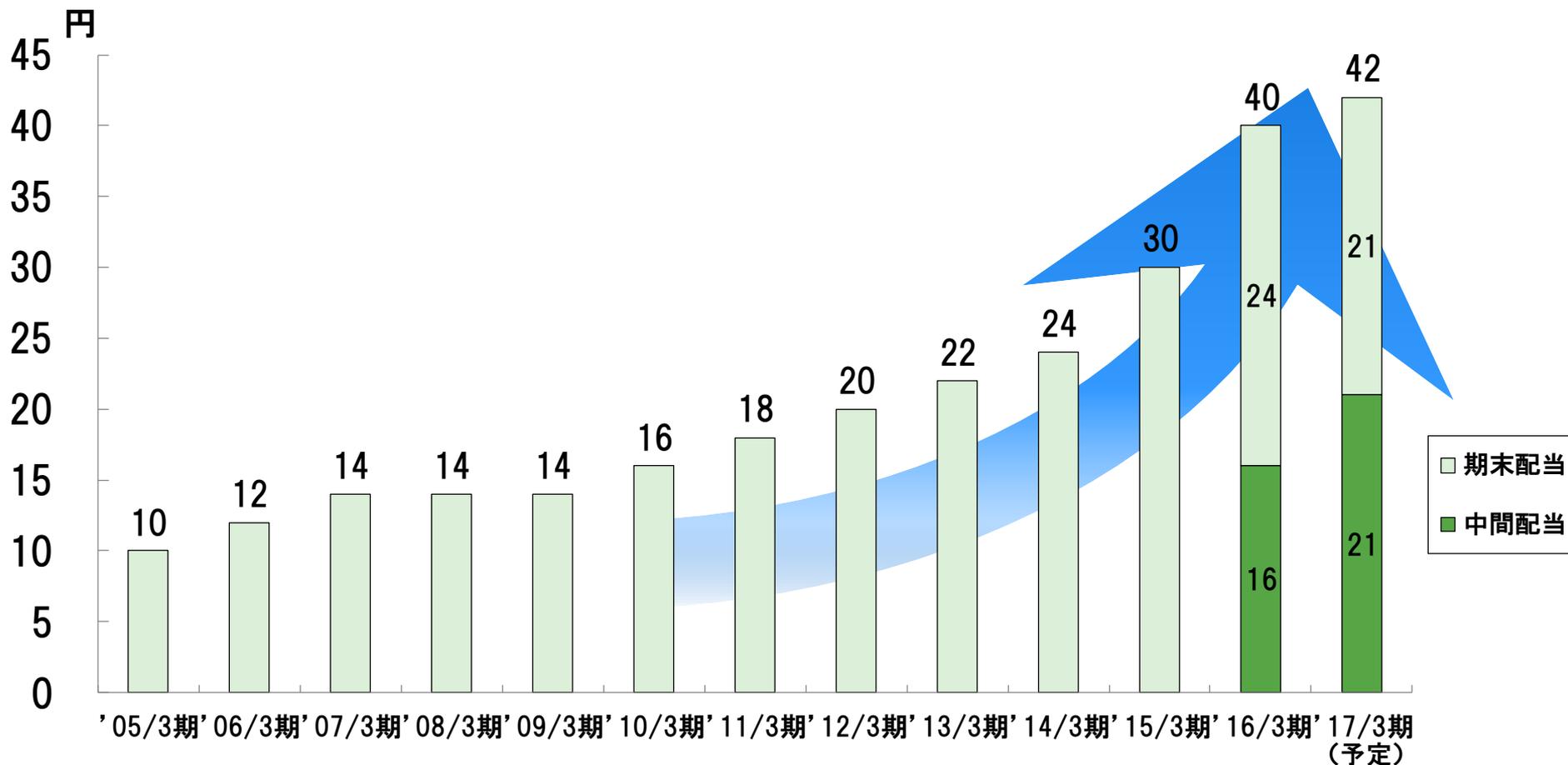
### 【ROE・総還元性向の推移】(連結)





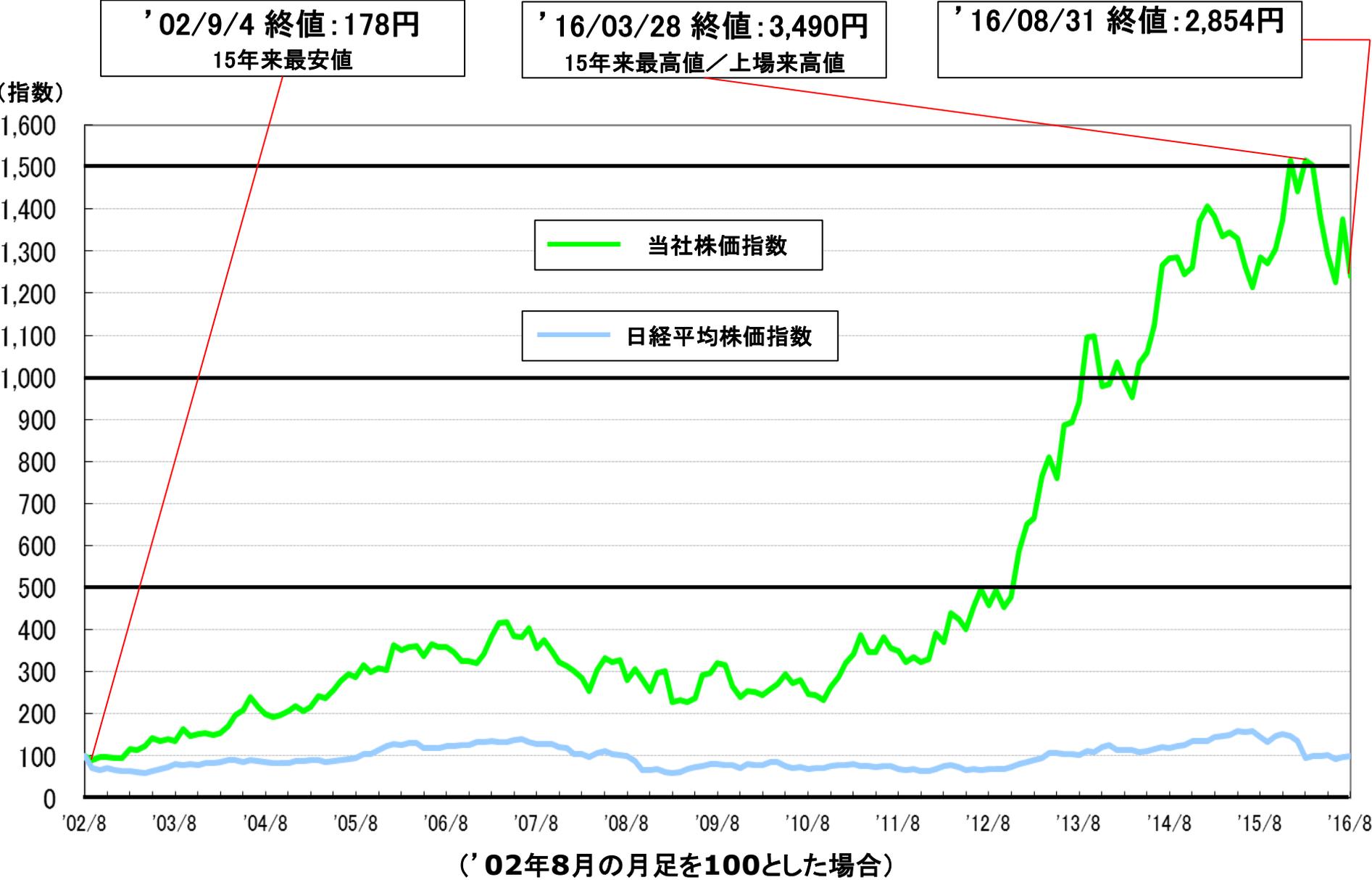
## 6. 個人投資家のみなさまへ (1) 配当額の推移

・株主還元の充実: '16/3期40円配当 前期比10円の大幅増配、  
'16/3期からは中間配当も実施





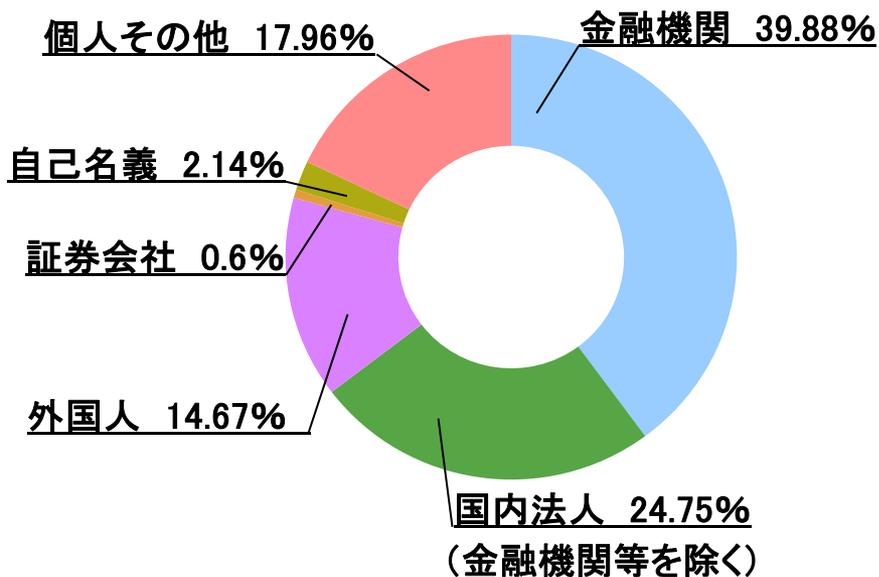
# 6. 個人投資家のみなさまへ (2) 過去15年間の株価推移





# 6. 個人投資家のみなさまへ (3) 当社株主構成

**所有者別分布状況**  
(平成28年3月31日現在)



**大株主の状況(上位10名)**  
(平成28年3月31日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
東日本旅客鉄道株式会社	3,659	10.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,449	9.76
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,835	5.20
株式会社みずほ銀行	1,214	3.44
日本電設工業株式会社	1,088	3.08
株式会社常陽銀行	777	2.20
鉄建建設株式会社	770	2.18
東鉄工業社員持株会	737	2.09
明治安田生命保険相互会社	731	2.07
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	728	2.06

(注)持株比率は、自己株式(771,467株)を控除して計算しております。

# 6. 個人投資家のみなさまへ

(4) 当社HP/  
シンボルマーク・コーポレートカラー



当社ホームページ:『個人投資家の皆様へ』

トップメッセージや中期経営計画、最新のIR資料のほか業績の推移など各種データをご参照ください。

**TOTETSU 東鉄工業株式会社**

ホーム | 会社情報 | IR情報 | 事業案内 | 施工実績 | 技術紹介 | CSR報告書 | 採用情報

IR情報 Investor Relations

ホーム > IR情報 > 個人投資家の皆様へ

**個人 投資家の皆様へ**

東鉄工業のウェブサイトをご覧いただき、ありがとうございます。このページでは、株主・投資家の皆様に私たちのことをよりご理解いただくよう、わかりやすく当社をご紹介いたします。

- 東鉄工業は、鉄道専門技術の特性を活かした総合建設業です
- 東鉄工業は、日本の鉄道線路メンテナンス会社です
- 東鉄工業は、「究極の安全」を目指すとともに「誠実なCSR経営」を推進します
- 東鉄工業は、業績の拡大と健全な財務体質に基づく「持続的成長」にこだわります
- 中期経営計画(2015~2018)「東鉄3D Step2018」
- 東鉄工業はこんな会社です

個人投資家向け説明会 | 株主総会 | 財務情報

また、採用情報ページにおきましては、会社紹介の動画もご覧いただけます。(採用情報⇒会社紹介映像ページ)

シンボルマーク・コーポレートカラー



- 「シンボルマーク」は、旧来の社章をエンブレム化
  - ・モノクロの濃淡だけで表現した立体感溢れるフォルムの重厚感と安定感 ⇒「究極の安全と安心」の追求
  - ・メタリックな質感 ⇒「技術と品質」へのこだわり
  - ・エッジの輝き ⇒「先進性」「将来性」を表現
- 新たに制定した「コーポレートカラー」は、『緑』
  - ・東鉄工業の「緑」は、「シンシアグリーン(sincere green)」=「誠実の緑」
  - ・「安全と安心」「誠実」「人」「環境」などへの思いを込めたもの

(2012年5月 新たに制定)



# 本日はご清聴誠にありがとうございました。

お問合せ先:

東鉄工業株式会社 経営企画本部 広報・IR部

TEL:03-5369-7611

ホームページURL : <http://www.totetsu.co.jp>

## 免責事項

本資料は、当社の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。